



▲AYO綾瀬公演で楽団員がホームステイ
8月28日のアジアユースオーケストラ(AYO)2014綾瀬公演に先立ち、5月10日、中央公民館でホームステイの説明会が行われました。AYOは、アジア各国の若手音楽家からなる楽団で、本市には、ホームステイで滞在します。楽団員の長旅の疲れを癒やし、元気に送り出すのがホストファミリーの役割となります。【長谷川 智恵】



▲目久尻川クリーンアップ大作戦
5月11日、目久尻川クリーンアップ大作戦が行われました。爽やかな天気恵まれ、4市1町の各団体や有志、親子連れなど34組が参加しました。吉岡地区センターをスタートし、目久尻川上流から下流までを一斉清掃。皆さんいい汗を流していました。【高橋 元】



▲ピアノは喜び！お母さんありがとう
5月11日、文化会館で知的障がいと視力障がいのある高橋秀樹さん(落合南)が、ピアノ独奏会を開きました。高橋さんはピアノを20年以上続けており、今回が初の独奏会。高橋さんから「今日は母の日。感謝を込めて母の曲の演奏を」との言葉に、会場の皆さんは、涙を浮かべながら演奏を聴き入っていました。【福島 順一】



▲ガラス工芸の技
小園南の横山律子さん宅でフュージング技法によるガラス工芸品作りを拝見しました。板ガラスを、パウダーや粒状のガラスで絵を描くように配合し、高温電気炉で溶着します。2日くらいかけて冷却して完成です。繊細な手作り作品の数々は、一見の価値があります。【馬場 正勝】



▲田植え始まる
入梅直前の6月4日、吉岡地区の目久尻川沿いの田んぼでは、今年も田植えが始まっています。近年の天候不順が気になりますが、無事に稲が生長し、秋にはたくさん収穫できることを願っています。【段木 武】



▲丘の上から見るバラの花
光綾公園の28種約900本のバラが、咲き競い合っていました。一輪のバラをクローズアップする人、バラとツーショットを撮る人。鳥のように、丘の上から見るバラも見事でした。【秋元 謙治】



▲株式会社大雄



▲有限会社大場工業所

市内2社の事業拡大と市民の新規雇用を認定
産業の活性化と市民の雇用機会の拡大を目的に施行した「企業の立地促進等に関する条例」により、有限会社大場工業所(吉岡東)と株式会社大雄(小園)の事業拡大計画を認定しました。5月29日に笠間市長から有限会社大場工業所(大場洋美代表取締役)と株式会社大雄(福村昇代表取締役)に認定通知書を手渡しました。
図商工振興課 ☎70・5661



署名記事は広報まちかど特派員から



▲子育てを応援しています「ひよこサロン」
5月22日、早園地区センターで未就学児童を対象にした「ひよこサロン」が開催されました。絵とお話によるパネルシアターやいろいろな動物が登場するお話があり、子どもたちは楽しそうに聞き入っていました。【福島 順一】



▲バルーンアートの体験
5月24日、北の台地区センターで夢川スマイル子ども会によるジャグリング観賞とバルーンアート体験が行われました。バルーンアート体験では、児童約40人とお母さんたちも参加して作り方を教わり、みんな真剣にバルーンを作っていました。【大滝 隆司】



▲花と緑に囲まれた緑化フェア
5月25日、光綾公園で綾瀬緑化フェアが開催されました。満開を迎えたバラ園に隣接した会場では、苗木の配布やステージ発表などもあり、たくさんの市民でにぎわいました。【河野 実】